

## 商業・貿易・金融

### 卸売・小売業（事業所数、従業者数等）

平成26年7月1日現在の卸売業の事業所数は3,526事業所、従業者数は2万5,611人、年間商品販売額は1兆7,222億円となっています。

また、卸売業の従業者数を業種別にみると、飲食料品卸売業が7,654人（構成比29.9%）で最も多くを占めています。

一方、小売業の事業所数は、1万2,997事業所、従業者数が8万8,534人、年間商品販売額は1兆7,495億円となっています。

また、小売業の従業者数を業種別にみた場合、飲食料品小売業が31,161人（構成比35.2%）で最も多くを占めています。

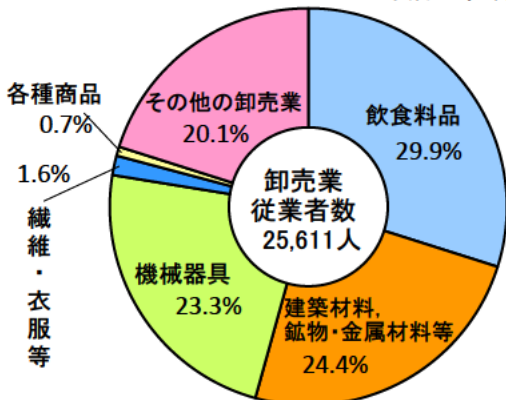
### 業種別年間商品販売額

平成25年の年間商品販売額を業種別にみると、卸売業は建築材料、鉱物・金属材料等卸売業4,636億円（構成比26.9%）で最も多く、次いで飲食料品卸売業4,634億円（構成比26.9%）、機械器具卸売業4,132億円（同24.0%）と続いています。

小売業は、飲食料品小売業が4,639億円で小売業年間商品販売額の26.5%を占めており、次いで機械器具小売業3,807億円（構成比21.8%）などとなっています。

図35 卸売業の従業者数の産業分類別構成

平成26年7月1日現在



資料 県統計課「三重の商業」

図37 卸売・小売業の年間商品販売額の産業分類別構成

平成25年

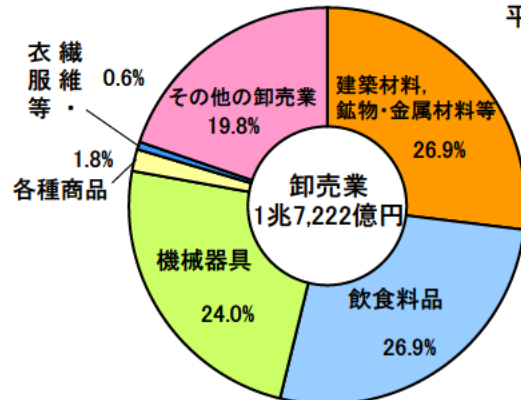
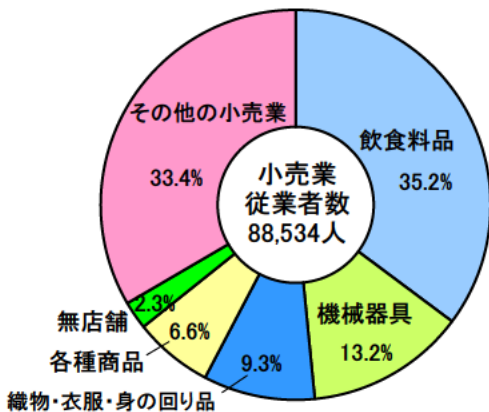


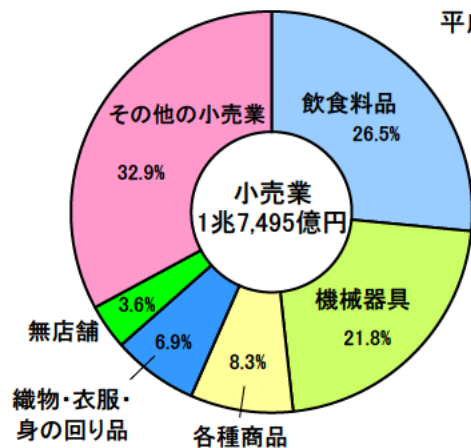
図36 小売業の従業者数の産業分類別構成

平成26年7月1日現在



資料 県統計課「三重の商業」

平成25年



資料 県統計課「三重の商業」

## 貿易

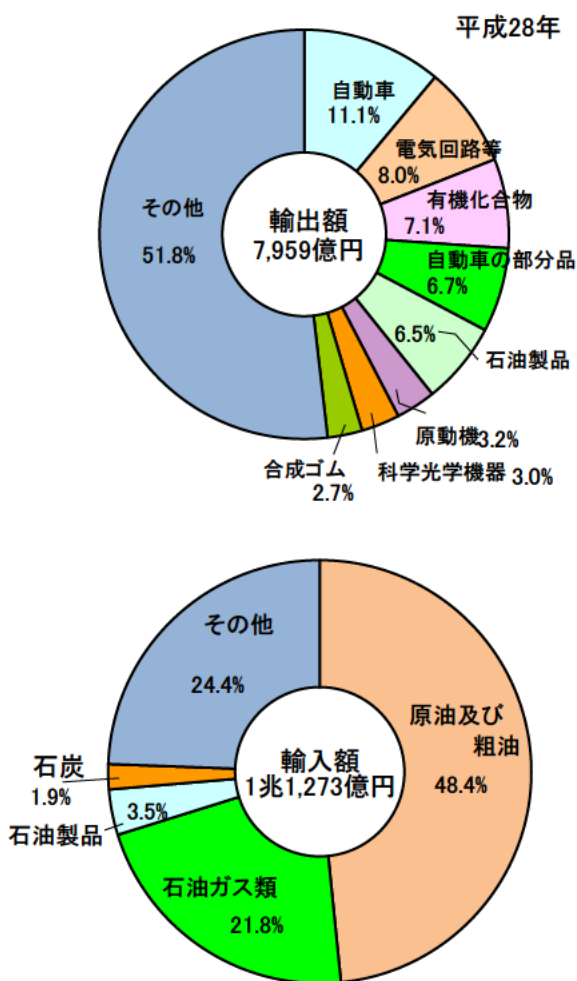
輸出・輸入ともに本県の大半を占める四日市港の平成28年の貿易状況をみると、輸出額は7,959億円で前年に比べ1,274億円

(13.8%) 減少し、輸入額は1兆1,273億円で前年に比べ5,350億円 (32.2%) 減少しました。

品目別でみると、輸出は自動車が880億円 (構成比11.1%) で最も多く、次いで電気回路等の機器635億円 (同8.0%)、有機化合物562億円 (同7.1%) の順となっています。

輸入は原油及び粗油が5,456億円 (構成比48.4%) で最も多く、次いで石油ガス類2,456億円 (同21.8%)、石油製品392億円 (同3.5%) の順となっています。

図38 四日市港の品目別貿易状況



資料 名古屋税関「貿易年表」

## 金融、企業倒産

平成29年3月31日現在の預貯金残高 (郵便貯金を除く) は、12兆732億円となり、前年に比べ2,690億円 (2.3%) 増加しました。貸出残高は、4兆9,686億円となり前年に比べ1,107億円 (2.3%) 増加しました。

平成29年の企業倒産件数は100件となり、前年に比べ24件 (31.6%) 増加しました。負債総額は159億円となり87億円 (35.5%) 減少しました。

図39 預貯金・貸出残高の推移

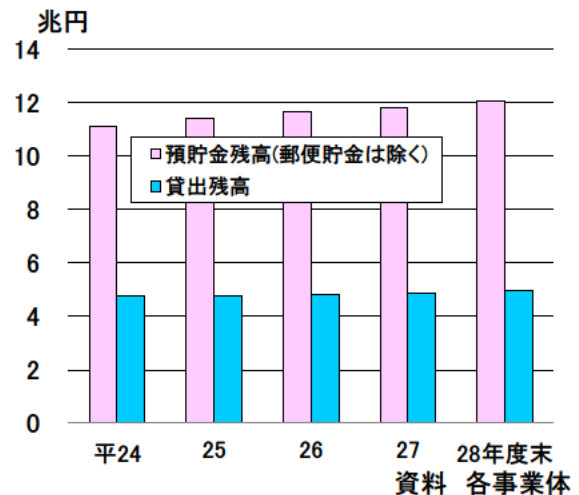
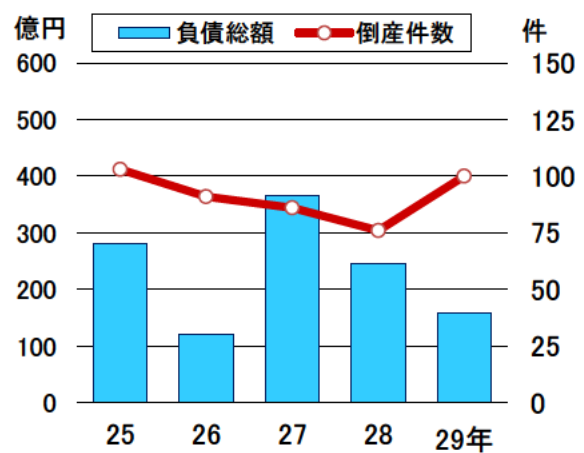


図40 企業倒産状況の推移



資料 (株)東京商工リサーチ津支店